

研修報告 広報委員会

平成29年9月28日～29日

東京都中央区

東京シエーンバツハ・サボアで開催されました「平成29年度町村議会広報研修会」への参加と「東京都中央区築地公設卸売市場」を視察研修いたしました。

広報研修会では、日本広報協会 広報アドバイザー小田 順子氏と吉村潔氏から広報誌の作り方を、また、議会広報サポーター芳野政明氏から、議会広報コンクールで1位の宮城県利府町、2位岩手県金ヶ崎町を見本に説明を受けました。

築地公設卸売市場は、最も古い



歴史を 持つ総 合市場 で、水 産物に ついて は世界 最大級 の取扱 規模と なって います。 昭和

10年に開場し、昭和60年代に再整備、平成13年12月に豊洲地区に移転することに決定し、現在に至っています。現場は、港・線路から搬入される設計がされているので、陸輸送の現在は、出口・入口と同一動線で効率が悪いの事です。また、建屋は老朽化して危険、トイレが少ない、衛生面でも問題があるとの事でした。さらに、移転する、しない、再検討と三転三転している事で、働いている方々が、一番の迷惑を被っているとの事でした。



研修報告 議会運営委員会

平成29年10月12日～13日

埼玉県川越市・三芳町

埼玉県川越市の「伝統的建造物群保存地区」と埼玉県三芳町議会を視察研修いたしました。

川越伝統的建造物群保存地区は、江戸初期の町割の上に、明治時代に建築された重厚な蔵造りと近代洋風建築物が立ち並び、特色ある歴史的景観を伝えているものです。

また、町並みだけでなくユネスコの無形文化遺産に登録され、国の重要無形民俗文化財となっている山車を曳き回す「川越まつり」も有名で、歴史と文化を継承し続ける住民の不断の努力と、行政のサポートの成果を感じ取る事が出来ました。

三芳町議会の議会改革としましては、議会基本条例・議員倫理条例の



制定、一般質問の設置、夜間議会、日曜議会、政策サポーター制度・政策サイクルの研究、ワークショップ形式の議会報告会等を実施してきました。今後の議会改革の計画としては、議会の政策機能の強化、議会中継の実施、通年議会の検討、議会のペーパーレス化を検討していくとの事でした。「出来ることからやっつけていこう」との方針だそうです、今後の議会運営に参考となりました。



研修報告 総務民生常任委員会

平成29年11月9日～10日

山梨県忍野村

山梨県忍野村における人口対策についてと新交通リニアについて視察研修いたしました。

忍野村は、全国的に人口減少するなか人口が増えており、山梨県内で昭和村に次ぎ2番目、全国でも90番目に人口が増加している村となっています。

また、忍野村の歳出合計は49億円に対し、歳入合計は53億円と黒字であり、当然普通交付税不交付団体となっておりです。

これは、村内に立地する大手企業（ファナック）という優良企業の工場、及び本社があるためだそうです。

企業誘致とは工場だけではなく、本社を誘致することが大事であると実感いたしました。

山梨県立リニア見学センターは、時速500キロメ



ートルで走行する車両を実際に見ることができ、車両が疾走する様子や、車両が通る際の風切り音や風圧を実際に体感する事が出来ました。



時速500キロメートルという、現在3時間程かかっている東京～大阪間が1時間で結ばれるようになるとの事です。

城里町には、鉄道や高速道路のインターチェンジもありません。唯一の交通手段はクルマという事になります。

移動時間が短くなれば、その地域との距離が縮まるといふ事です。城里町の場合、唯一の交通である道路網の整備をし、近隣との距離を近づける事が町の発展のために大切な事であると実感致しました。

研修報告 教育産業常任委員会

平成29年11月16日～17日

静岡県駿豆地区

静岡県駿豆地区の広域水道事業及び世界遺産葦山反射炉と重要文化財江川邸を視察研修いたしました。

「駿豆水道」は、狩野川水系の柿田川の湧水を水源とした用水を供給している県企業体です。

静岡県は全国一水道料金が安い地区ですが、これは水がきれいな事もあります。最先端の管理システムで徹底的に効率化した結果であるとの事でした。

城里町の水道事業は、石塚浄水場が築48年を経過し、老朽化が進み更新をしなければならぬ時期に来ています。

今後の方向性を見出すためにも大変参考になる研修となりました。

重要文化財江川邸は、江戸時代の葦山代官所です。

幕末の代官である江川英龍は、勝海舟が絶賛し、福沢諭吉も憧れた幕末の知られざる巨人と呼ばれ、大河ド



ラマの主人公になるほどの人物です。

文化財の管理、運営は、

江川家当主が代表理事を務める財団法人「江川文庫」がしています。



葦山反射炉は、海防政策の大砲を製造するために江戸幕府直営で築造されたもので、世界遺産として正式登録されました。

葦山は鎌倉幕府の北条氏ゆかりの地で、名所旧跡も多く、もともと観光地であることから観光客も多い事に加え、世界遺産登録で観光客数が爆発的に増えたようです。

今回の研修で、特に感じたのは、無料ガイドの案内で、この説明が無ければ歴史的・文化的な意味を知ることが出来ません。

このガイドによる案内体制の充実が文化財等の観光に真に求められるものであると感じました。